



『東北圏だより』

「世界防災フォーラム@仙台 2019」東日本大震災の教訓を伝える 3.11 伝承ロード

～産・学・官・民が連携した震災伝承の取り組み～における一般公開セッション開催

東北地方整備局

令和元年11月9日（土）～11月12日（火）に仙台市で「世界防災フォーラム@仙台 2019」が開催されました。一般公開セッションとして震災伝承ネットワーク協議会が主催する「東日本大震災の教訓を伝える 3.11 伝承ロード ～産・学・官・民が連携した震災伝承の取り組み～」をテーマに「命を守る教訓」を国内外に発信し防災力を高めるとともに、人が対流することで地域の元気創出につなげる取り組みについて、パネルディスカッションを行いました。



登壇者



●コーディネーター
東北大学
災害科学国際研究所
准教授
さとう しょうすけ
佐藤 翔輔



●パネリスト
高知県黒潮町 町長
おおにし かつや
大西 勝也



●パネリスト
熊本県益城町
土木審議監
（町長代理）
もちだ ひろし
持田 浩



●パネリスト
宮古観光文化交流協会
学ぶ防災ガイド
もとだ くみこ
元田 久美子



●パネリスト
一般社団法人
東北観光推進機構
専務理事推進本部長
こんの じゅんいち
紺野 純一



●パネリスト
国土交通省
東北地方整備局
企画部長
にしお たかし
西尾 崇

【問い合わせ先】

震災伝承ネットワーク協議会事務局（国土交通省東北地方整備局企画部）

TEL：022-225-2171

<http://www.thr.mlit.go.jp/sinsaidensyou/index.html>

■現在、東日本大震災の教訓を伝承する施設を「震災伝承施設」として募集しています。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

「震災伝承施設」要綱等：<http://www.thr.mlit.go.jp/sinsaidensyou/youkou/index.htm>

高田松原津波復興祈念公園が開園しました

東北地方整備局

9月22日（日）、岩手県陸前高田市で「高田松原津波復興祈念公園」が一部開園しました。

公園内には、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の伝承、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、国が「国営追悼・祈念施設」を整備しました。

同時にオープンした道の駅「高田松原」及び「東日本大震災津波伝承館」は、津波で全壊した道の駅「タピック45」を遺構として保存しつつ、国、岩手県、陸前高田市が連携して新たに再生したもので、三陸沿岸地域における震災伝承や地域復興のゲートウェイとしての役割を担っています。

「東日本大震災津波伝承館」では、流出した気仙大橋の橋桁や震災当時の東北地方整備局の災害対策室など被災した実際の物、被災の現場をとらえた写真や映像などが展示されています。

公園内では震災遺構の「奇跡の一本松」もご覧になれます。多くの方々に本公園を訪れて頂き、震災の教訓を学びながら、地域の復興を支援して頂ければ幸いです。



▲復興祈念公園 国営追悼・祈念施設



▲道の駅「高田松原」地域振興施設



▲東日本大震災津波伝承館

【問い合わせ先】

高田松原津波復興祈念公園

TEL：0192-22-8911

[公式ツイッター 高田松原津波復興祈念公園](#) [検索](#)

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。
メールアドレス：thr-kou-suishin2@mlit.go.jp